I-O DATA

PDI-B903/HSK

取扱説明書

151920-01

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

		危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

<例>「発火注意」を表す絵表示

<例>「分解禁止」を表す絵表示

<例>「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠危険

水・海水・醤油などで濡らさない
電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

ストーブなどの熱源のそばに放置しない
発熱、破裂、発火の原因となります。

火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください
高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。

電池は当社指定の充電器を使用するか、当社指定の充電条件を守る
その他の充電条件(指定以外の温度、指定以外の高い電圧/大きな電流、または改造した充電器など)で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因となります。

充電端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

⚠警告

充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止する
内蔵されている電池が発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

電池が漏液したり異臭がする時には直ちに火気より遠ざける
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、こすらずに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれたりする原因となります。

火の中に投入したり、加熱しない
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

本製品を使用する場合は、ご使用の接続機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用の接続機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

故障や異常のまま、通電しないでください。
本製品に故障や異常がある場合は、使わないでください。
また、電源やACアダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品を病院内で使用しないでください。
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

本製品を飛行機の中で使用しないでください。
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

日本国外で使用できません。

本製品は乳幼児の手の届かないところにおいてください
不用意な取り扱いは危険を伴います。

電子レンジや高圧容器に入れない
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。

本製品の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、本製品を使用しないでください。
そのまま使用すると内蔵されている電池が発熱、破損、発火する原因となります。

ACアダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください
- ●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因になることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因になります。
- ●電源コードがACコンセントに接続されているときには、濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。
- ●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
  (じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)
- ●本製品を長時間使用しない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
  ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
- ●火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください。
  高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。
- ●ACアダプタは本製品以外の他の用途には使用しないでください。
- ●コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

⚠注意

電池の充電方法については、本書をよくお読みください

直射日光の当たる場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しない
電池を漏液させる原因になるおそれがあります。

保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しない
危険防止のための保護機構が組み込まれています。保護機構がこわれ発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

常温(20℃±5℃)で使用する
低温下では使用時間が短くなります。低温下の使用では、電池の性能を十分発揮できません。できるだけ常温(20℃±5℃)でご使用ください。

電池の充電温度範囲は次の通りです。この温度範囲以外での充電はしない
電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。 充電:5℃～35℃

充放電する
長期間ご使用にならなかった電池は十分に充電されないことがあります。電池は長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充放電を行ってください。

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。
取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。修理の際、検査のためにデータの消去などを行う場合があります。修理にお出しになる前にもバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所(環境)で保管や使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機等)
- ●水気の多い場所(台所、浴室など)
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
  (保管は問題ありません)
- ●腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど)
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所(保管は問題ありません)

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊される恐れがあります。
また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れ、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品を廃棄する場合の取り扱いについて

本製品には内蔵電池としてリチウムイオン充電池を使用しています。
リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。
本製品を廃棄する場合は分解せず、弊社修理センターにお問い合わせください。

【お問い合せ先】 株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター
TEL.076-260-3617

本製品は絶対に分解しないでください
感電などの危険があるため、絶対に分解しないでください。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

■以下の近くでは使用しないでください

- ●電子レンジ/ベースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ●工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局
  (免許を要する無線局)
- ●特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- ●IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などは、Bluetooth®と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

■テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

テレビ/ラジオなどは、Bluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth®製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth®製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■良好な通信のために

- ●他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- ●電気製品(AV機器、OA機器など)から2m以上離して通信してください。(特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。)正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- ●無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- ●無線LAN機器との電波障害について……IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth® 機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

■使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします

他のBluetooth® 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

■修理について

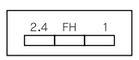
- ●本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。
- ●長時間(6時間以上)の充電はしない
- ●電池には寿命があります。
  十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきた時は、電池の寿命です。使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電ができます。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。
- ●電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- ●当社では電池の交換は行っておりません。
  充電してもご使用いただけない場合には寿命と考えられますので、新しい製品をご購入ください。なお、電池寿命か故障かどうか不明な場合には、当社サポートセンターまでご相談ください。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- ●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

【連絡先】サポートセンター 【電話】金沢 076-260-3644
東京 03-3254-1144



2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す
FH: 変調方式を表す
1: 想定される与干渉距離を表す(<=10m)
: 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不能であることを意味する。

仕 様

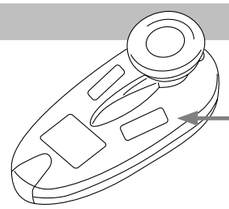
■仕様

通信方式	FH-SS（周波数ホッピング方式スペクトラム拡散）
変調方式	GFSK
送信出力	最大 +3dBm（Power Class 2）
受信感度	最大 −78dBm
通信距離	約10m
電源	内蔵Li-ionバッテリーを使用
消費電流	20mA（通話時平均）
外形寸法	26.8（W）×26.1（D）×58.1（H）mm
連続待受時間	約110時間
連続通信時間	約4時間
質量	約14g
適合規格	Bluetooth Specification Version 1.1 TELEC、JATE
対応プロファイル	GAP、SDAP、HFP

■対応機器（携帯電話）

au	A5504T

内容物を確認しよう



☐ ヘッドセット（1台）

●本体（筐体裏面）に貼ってあるシールは、本製品が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。

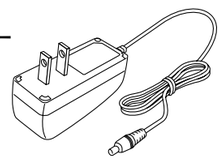
■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

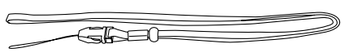
シリアル番号は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。※Aは英字、0は数字、aaは英数字となります。

●シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。**http://www.iodata.jp/regist/**
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
http://www.iodata.jp/lib/

☐ 専用ACアダプター

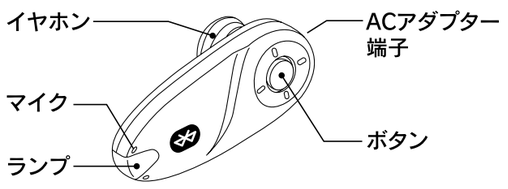


☐ ネックストラップ



☑ 取扱説明書（本書）　☐ 保証書

各部の名称



本製品のお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず「本書」「セットアップガイド」「オンラインマニュアル」で、設定などをご確認ください。

② 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。こちらも参考にしてください。

製品Q&A、Newsなど **www.iodata.jp/support/**

③ それでも解決できない場合は下記にお問い合わせください。

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。
1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用の電話機の型番及び事業者
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
■返送先［住所/氏名/（あれば）FAX番号］　■日中にご連絡できるお電話番号
■ご使用環境　■故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

PDI-B903/HSK の使い方

● はじめに（充電について）

1）ACアダプターをコンセントに差し込みます。
2）ヘッドセットのACアダプター端子にACアダプターを差し込みます。充電中はランプが点灯。（完了すると点滅します。）
※通常の充電時間は約3時間かかります。　※最初にご使用される前に5時間以上の充電を行ってください。

❶ 電源を入れる

ヘッドセットのスイッチを約3秒間押すと、ピッピッピッとブザーが3回鳴って電源が入ります。
電源が入った状態では一定時間ごとにランプが点滅します（点滅）。 ACアダプタを接続し充電を行う時にも電源は自動的に入ります。

❷ 電源を切る

ヘッドセットのスイッチを約3秒間押し、ピーッとブザーが長く鳴って電源が切れます。

❸ 電話機への登録（ペアリング）（最初の1回のみ）

① 電源が切れていることを確認します。
② ランプが点滅するまでボタンを押し続けます。
③ 携帯電話機側のハンズフリー機器の登録を行います。
【A5504Tの場合】　1. ボタン → ハンズフリー通話 → 初期登録
2. 表示された機器を選択します。
3. パスキーを[1234]と入力します。
④ 携帯電話機側の画面にペアリングが完了した表示が出ることを確認します。
以上で完了です。 ※操作が完了しない場合、2分間で登録状態が完了します。

❹ 電話機に接続する

① 先に携帯電話とのペアリングを済ませておき、携帯電話の電源を入れ待ち受け状態にします。
【A5504Tの場合】　ボタン → ハンズフリー通話 → 接続待ち状態
（携帯電話の画面にて マークが白地になっていることを確認してください。）
② ヘッドセットの電源を入れ、ランプが5秒おきに1回点滅していることを確認します。
③ ヘッドセットのボタンを1回押します。
→ 5秒後に携帯電話の マークが青地になり、接続完了します。

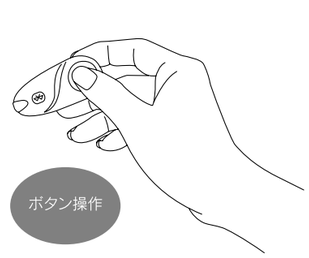
携帯電話の マークとヘッドセットのランプの状態について

●接続が確立されていない場合
■携帯電話機側：マークが白地
■ヘッドセット側：ランプが5秒に1回点滅

●接続が確立されている場合
■携帯電話機側：マークが青地
■ヘッドセット側：ランプが5秒に3回点滅

❺ 電話をする

①通常の携帯電話と同様に電話をかけます。
②通話状態でヘッドセットのボタンを1回押し、ヘッドセットに通話を切り替えます。



❻ 電話を受ける

携帯電話に着信すると、ヘッドセットのイヤホンから着信音が聞こえますので、
ボタンを短く1回押すと電話を取ることができます。

❼ 終話

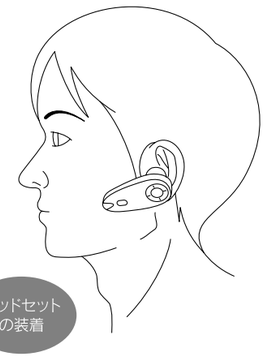
通話時に、ボタンを3秒間押し続けると通話を終了することができます。

❽ ボリュームの変更

通話時に、ボタンを1回押すごとに右のように変化します。　→ 小 → 中 → 大 →
ボタンを押すごとに一段階変化します。続けて操作する場合は、1秒ほど間隔をあけてから操作を行ってください。

❾ 通話の転送

ヘッドセットで通話時に、ボタンを素早く3回押すと携帯電話本体での通話に切り替わります。
この状態でもう一度ボタンを1回押すと再びヘッドセットでの通話に切り替わります。



❿ リダイヤル

待ち受け時に、ボタンを素早く3回押すと最後に発信した番号に対して発信します。

⓫ 着信拒否

着信時に、ボタンを3秒間押すと着信を拒否します。

⓬ バッテリー低下の警告

バッテリーの残量が少なくなると、イヤホンからは40秒おきに警告音（ドゥルドゥルドゥ）が聞こえます。
警告が始まって10分で電源が自動的にOFFになります。

⓭ ランプの動作について

■ランプの動作

状　態	動　作	意　味
通常時	5秒おきに1回点滅	未接続
	5秒おきに3回点滅	待受状態
	5秒おきに4回点滅	通話中
	点滅	ペアリング中
電源投入時	5秒間の点灯	電池残量は十分
	5秒間に5回点滅	充電が必要

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2004.06.04 発行